

# 甲南法務研究

## No.20 2023.10

- 本法科大学院の活動報告 石井 昇
- 差止訴訟（行訴法3条7項）と義務不存在確認訴訟  
—— 最判令和元年7月22日を参考にして —— 石井 昇
- SNSの著作権 板倉 集一
- 実務家から見た法教育に関する論説 黒根 祥行
- シュニツターの連結理論（その二） 櫻田 嘉章
- 消費者契約法10条による差止訴訟の実務と展望 鈴木 尉久
- 薬物戦争の終わり  
—— 人びとはなぜかくも懸命に戦ってきたのだろうか —— 園田 寿
- 定義づけ比較衡量と比例性に関する試論 高橋 靖
- 租税訴訟における司法判断と専門家の責務 丸山 晃弘
- 訴訟上の反対相殺の再抗弁について 宮川 聡
- 【判例評釈】明示の一部訴求がなされ訴訟が係属しているときに、残額債権の支払いを求める別訴を提起することは民事訴訟法142条の類推適用により許されないとされた事例
- 損害賠償等請求事件 東京地方裁判所平成30年(ワ)第34702号  
令和3年4月20日民事第26部判決 宮川 聡
- 【研究ノート】BitTorrentによる著作権侵害についての残課題  
—— 原告が立証責任を負うべき具体的事実についての検討 —— 伊藤 英明
- 【研究資料】刑事手続における視覚障害者の権利保障
- 第1部 刑事手続と視覚障害 —— 問題の提起 —— 渡辺 顕修
- 第2部 視覚障害を有する弁護士のインタビューに学ぶ —— 渡辺 顕修、山崎 茜
- 第3部 視覚障害者の権利保障のために —— 多角的な検討 ——  
板原 愛、堀田 零生、山田 直子

### 甲南大学法科大学院